

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	茨城大学	個人・グループ名	市毛奈奈・齋藤安那・山田友希	作品名	くるくるまわるんだな
-----	------	----------	----------------	-----	------------

## 製作の動機・目的

本研究室に現在置かれている靴箱は, 壊れているうえに収納量も8足であり, 下履き, 実習用シューズ(安全靴)などもあるため, 本研究室7名が所持している靴をすべて収納することができない。

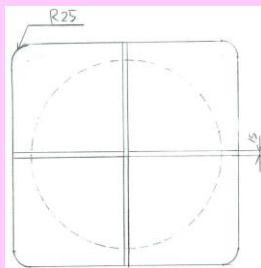
そのために, 本研究室の靴は中履きも外履きも床に並べられており, 扉の開閉に支障をきたすとともに美観を損ねている。

そこで, 現在ごみ箱・傘立てが置かれているスペースを利用し, すべての靴が1方向から取り出せ, 収納量の十分ある靴箱を製作した。

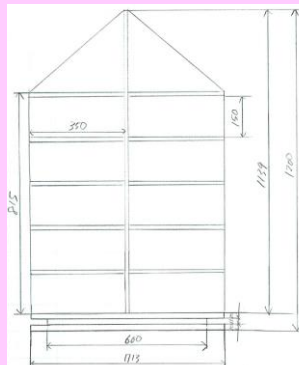
回転式靴箱を作って, この空間を利用したい



## 製作した靴棚



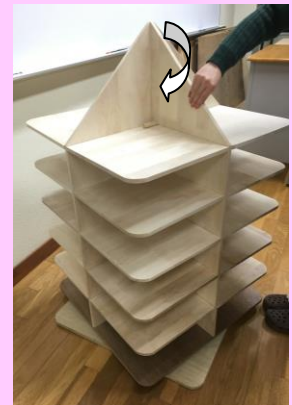
上面図



正面図

### 使用材料

底板: ラワン合板  
棚板: 集成材  
仕切り板: 集成材  
棚板部品: 木ダボ  
接合: L字金具  
アルミ回転盤を用いて回転させる。



## 工夫した点

**棚の高さ変更可能!**



棚板は取り外しが可能で靴の高さに合わせて替えられます。上下に木ダボをつけ棚板を挟んでいるため安定性もあります。(最大収納量24足)

**360° 回転!**



底板を2枚にし, その間にアルミ回転盤を挟みました。女性の力でも簡単に回すことができ, 靴の出し入れがとてもスムーズになりました。



使用したアルミ回転盤 (φ600, t21)